

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年5月14日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4448 URL https://go.chatwork.com/ja/

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO兼コーポレート本部長 (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	688	27.1	△9	ー	△8	ー	△9	ー
2020年12月期第1四半期	541	ー	85	ー	86	ー	92	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△0.25	ー
2020年12月期第1四半期	2.53	2.35

(注) 2021年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,567	1,835	71.5
2020年12月期	2,535	1,790	70.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,835百万円 2020年12月期 1,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2021年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年12月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日~2021年12月31日)

2021年12月期の業績予想におきましては、競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額予想は開示しない方針とさせていただきます。なお、当期につきましても、Chatwork事業の売上高成長を引き続き最重要の経営目標としつつ、Chatwork事業の売上高で前事業年度比35%以上、全体売上高では前事業年度比30%以上の成長を目標としております。詳細は添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期 1 Q	37,058,586株	2020年12月期	36,880,640株
2021年12月期 1 Q	41株	2020年12月期	41株
2021年12月期 1 Q	36,955,858株	2020年12月期 1 Q	36,599,985株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、広告・マーケティング活動の強化、既存サービスの機能強化に積極的に取り組んでまいりました。この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高688,960千円(前年同四半期比27.1%増)、営業損失9,304千円(前年同四半期は85,613千円の営業利益)、経常損失8,386千円(前年同四半期は86,606千円の経常利益)、四半期純損失9,347千円(前年同四半期は92,583千円の四半期純利益)となりました。なお、先行投資として、採用が順調に進んでいることや、広告・マーケティング活動のさらなる加速により、営業利益以下の各段階利益がマイナスとなっております。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

①Chatwork事業

Chatwork事業は、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は624,045千円(前年同四半期比33.6%増)、セグメント損失は35,509千円(前年同四半期は49,671千円の営業利益)となりました。

なお、当事業が当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当事業の維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当事業における費用として計上しております。

②セキュリティ事業

セキュリティ事業については、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は64,914千円(前年同四半期比13.1%減)、セグメント利益は26,204千円(前年同四半期比27.1%減)となりました。

なお、当事業のセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatwork事業にて計上していることから、当事業の売上高より当事業に要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて32,490千円増加し、2,567,556千円となりました。これは主に無形固定資産が54,650千円増加したことによるものであります。

②負債

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて12,721千円減少し、732,123千円となりました。これは主に、前受金が16,924千円増加、未払法人税等が43,540千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて45,211千円増加し、1,835,433千円となりました。これは主に、資本金が27,279千円増加、資本剰余金が27,279千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期におきましては、前事業年度に引き続きChatwork事業の売上高成長率の向上を第一優先とすることが当社の企業価値向上にとって最優先であると考えております。上記の考え方にに基づき、売上高につきましては、Chatwork事業で前事業年度比35%以上、セキュリティ事業は市場環境により前事業年度比微減を想定し、全体売上高で前事業年度比30%以上の成長を目標にしております。

また、当社サービス「Chatwork」における販売体制強化、及びプラットフォーム化の展開を加速し、継続的な機能追加による「Chatwork」の付加価値向上を行い、全社としての成長を更に加速したいと考えております。なお、営業利益以下の各段階利益については競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額の予想は開示しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,847,288	1,765,526
売掛金	197,764	214,509
その他	167,000	208,939
流動資産合計	2,212,053	2,188,974
固定資産		
有形固定資産	70,518	63,470
無形固定資産	167,195	221,845
投資その他の資産		
その他	85,299	93,266
投資その他の資産合計	85,299	93,266
固定資産合計	323,013	378,582
資産合計	2,535,066	2,567,556
負債の部		
流動負債		
未払金	161,740	209,021
未払費用	111,108	107,347
未払法人税等	51,772	8,231
前受金	328,939	345,863
その他	91,284	61,659
流動負債合計	744,844	732,123
負債合計	744,844	732,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,409,930	1,437,209
資本剰余金	1,395,790	1,423,069
利益剰余金	△1,015,456	△1,024,803
自己株式	△42	△42
株主資本合計	1,790,222	1,835,433
純資産合計	1,790,222	1,835,433
負債純資産合計	2,535,066	2,567,556

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	541,863	688,960
売上原価	142,641	180,713
売上総利益	399,221	508,246
販売費及び一般管理費	313,608	517,551
営業利益又は営業損失(△)	85,613	△9,304
営業外収益		
受取利息	6	8
為替差益	969	1,417
雑収入	17	22
営業外収益合計	993	1,448
営業外費用		
株式交付費	—	227
雑損失	—	302
営業外費用合計	—	530
経常利益又は経常損失(△)	86,606	△8,386
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	86,606	△8,386
法人税、住民税及び事業税	12,431	960
法人税等調整額	△18,408	—
法人税等合計	△5,977	960
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92,583	△9,347

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	467,194	74,669	541,863	541,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	467,194	74,669	541,863	541,863
セグメント利益	49,671	35,941	85,613	85,613

(注1)セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatwork事業であり、本社機能も含めて間接費の全てがChatwork事業の維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatwork事業にて計上しております。

当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	624,045	64,914	688,960	688,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	624,045	64,914	688,960	688,960
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△35,509	26,204	△9,304	△9,304

(注1)セグメント利益又はセグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatwork事業であり、本社機能も含めて間接費の全てがChatwork事業の維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatwork事業にて計上しております。

(重要な後発事象)

新株の発行について

当社は、2021年4月21日開催の取締役会にて、当社の取締役4名及び従業員2名（以下割当対象者）といたします。）に対し、金銭報酬債権合計35,545,040円（以下「本金銭報酬債権」といいます。）を付与し、普通株式25,720株（以下「本割当株式」といいます。）を発行することを決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

(1)発行の概要

(1)払込期日	2021年5月21日
(2)発行する株式の種類及び発行数	当社普通株式25,720株
(3)発行価格	1株につき1,382円
(4)発行価格の総額	35,545,040円
(5)割当予定先	当社取締役4名24,274株 当社従業員2名1,446株
(6)その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

(2)発行の目的及び理由

当社は、2021年4月21日開催の取締役会において、当社の中長期的な企業価値及び株主価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆さまと一層の価値共有を目的とする、当社の取締役及び従業員（以下「対象役職員」といいます。）を対象とする譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）に基づき、普通株式の発行を決議いたしました。なお、本制度の概要については、以下のとおりであります。

<本制度の概要>

対象役職員は、本制度に基づき当社より支給された金銭報酬債権の全部を現物出資財産として払い込み、当社の普通株式の発行又は処分を受けることとなります。

また、本制度による当社の普通株式の発行又は処分に当たっては、当社と割当てを受ける対象役職員との間で譲渡制限付株式割当契約を締結するものとし、その内容として、次の事項が含まれることとします。

- ① あらかじめ定められた期間、割当てを受けた当社の普通株式について譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならないこと
- ② 一定の事由が生じた場合には当社が当該普通株式を無償で取得すること

<譲渡制限付株式割当契約の概要>

本新株発行に伴い、当社と割当対象者は個別に譲渡制限付株式割当契約（以下「本割当契約」といいます。）を締結しました。その概要は以下のとおりであります。

①譲渡制限期間

割当対象者は、2021年5月21日（払込期日）から2024年4月末日までの間、本割当株式について、譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならない。

②譲渡制限の解除条件

割当対象者が譲渡制限期間中、継続して、当社の取締役又は従業員のいずれかの地位にあったことを条件として、譲渡制限期間満了日において、本割当株式の全部につき、譲渡制限を解除する。ただし、割当対象者が、任期満了、死亡その他当社取締役会が正当と認める理由により当社の取締役又は従業員のいずれの地位も喪失した場合、譲渡制限期間満了時点をもって、本割当株式の全てにつき、譲渡制限を解除する。

③当社による無償取得

当社は、譲渡制限期間が満了した時点、又は、譲渡制限期間中に割当対象者が当社の取締役又は従業員のいずれの地位も喪失した直後の時点において、譲渡制限が解除されていない本割当株式を当然に無償で取得する。

④株式の管理

本割当株式は、譲渡制限期間中の譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができないよう、譲渡制限期間中は、割当対象者が大和証券株式会社開設した譲渡制限付株式の専用口座において管理される。

⑤組織再編等における取扱い

譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する事項が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要しない場合においては、当社の取締役会）で承認された場合には、取締役会の決議により、払込期日を含む月から組織再編承認日までの期間を踏まえて合理的に定める数の本割当株式につき、組織再編等効力発生日の前営業日の直前時をもって、これに係る譲渡制限を解除する。

(3) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株発行は、本制度に基づき割当予定先に支給された金銭報酬債権を出資財産として行われるものであり、その払込価額は、恣意性を排除した価格とするため、2021年4月20日（取締役会決議日の前営業日）の東京証券取引所における当社の普通株式の終値である1,382円としております。これは、取締役会決議日直前の市場株価であり、直近の株価に依拠できないことを示す特段の事情のない状況においては、当社の企業価値を適切に反映した合理的なものであって、割当対象者にとって特に有利な価額には該当しないと考えております。